

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E1421018		合奏 (Ensemble)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
選択	1	4	教育学部		火1	日本語			単独						
担当 教員	氏名 高田喜夫														
	E-mail takata@oita-pjc.ac.jp 内線														
授業の概要	合奏 で習得した中学校音楽科で行われる器楽合奏の目的や意義、各楽器（リコーダー、ギター、打楽器、和楽器など）の取り扱い方や奏法をもとに、より高度な演奏技術、演奏表現、合奏の指導法を身につけることを目的とする。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 器楽合奏の目的や目標についての知識を習得できる。															
目標2 音楽の授業で扱われる楽器（ソプラノ・アルトリコーダー、ギター、打楽器、和楽器等）の取り扱い方、奏法が習得できる。															
目標3 合奏における指導技術が習得できる。															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度（計10）									8		2				
授業の内容															
1	ガイダンス														
2	リコーダー（同種リコーダーによるアンサンブル 楽曲演奏及び指導法研究）														
3	リコーダー（同種リコーダーによるアンサンブル 楽曲演奏及び指導法研究）														
4	リコーダー（同種リコーダーによるアンサンブル 楽曲演奏及び指導法研究）														
5	和楽器（和楽器の奏法について）														
6	和楽器（和楽器の奏法について）														
7	リコーダー（異種リコーダーによるアンサンブル 楽曲演奏及び指導法研究）														
8	リコーダー（異種リコーダーによるアンサンブル 楽曲演奏及び指導法研究）														
9	リコーダー（異種リコーダーによるアンサンブル 楽曲演奏及び指導法研究）														
10	ギター（ギターの奏法について）														
11	打楽器（打楽器の奏法について）														
12	合奏（様々な楽器を使用した楽曲演奏及び指導法研究）														
13	合奏（様々な楽器を使用した楽曲演奏及び指導法研究）														
14	合奏（様々な楽器を使用した楽曲演奏及び指導法研究）														
15	まとめ														
ラー ン グ グ ル ー プ	A:知識の定着・確認	楽譜から様々な情報を読み取り、新たな知識や技術の習得だけでなく、これまで習得した知識や技術を生かし、演奏表現を考える。個人での活動だけでなく、グループでの活動も行い、意見交流を行い、様々な演奏表現を考える。	工 夫 そ の 他 の												
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	事前に楽譜を読み、曲想や楽曲の構造、運指などを理解しておくこと。（23h）													
	事後学修	授業内でできなかった箇所等の練習を行うこと。理解できなかったことを整理すること。（22h）													
	想定時間合計	45													
教科書	適宜、楽譜やプリント等を配布する。														
参考書	中学生の器楽（教育芸術社） 中学器楽 音楽のおくりもの（教育出版） 中学校学習指導要領解説 音楽編（文部科学省） 教育芸術社 改訂版 最新 中等科音楽教育法 2017/18年告示「中学校・高等学校学習指導要領」準拠 中学校・高等学校教員養成課程用 中等科音楽教育研究会編 音楽之友社 JBC バンドスタディ（ヤマハミュージックエンタテイメントホールディングス）														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	レポート	50%										
	演奏発表	20%										
	試験	30%										
	授業内で課すレポートの内容、演奏発表及び試験で評価する。											
注意事項	配布する楽譜を整理できるようクリアファイル等を準備すること。また、楽器や譜面台の準備を積極的に行うこと。 ソプラノ・アルトリコーダーを授業開始までに各自で準備しておくこと。											
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	学校法人大分高等学校 大分中学校・大分高等学校 元教諭											
実務経験を いかした教 育内容	中学校・高等学校教諭としての実務経験をもつ教員が、中学校音楽科で行われる器楽合奏の目的や意義を理解させ、各楽器の奏法や合奏の指導法を研究し指導力を育成する											